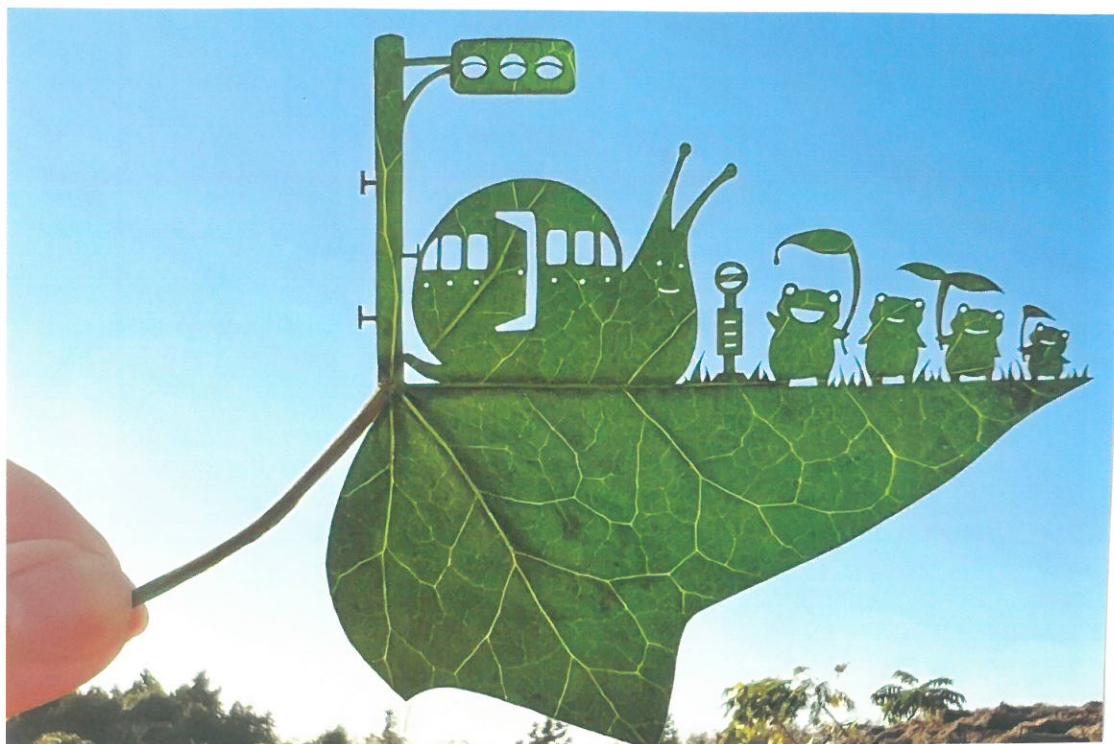


## 令和4年度 事業報告書



### 社会福祉法人 信愛会

- 法人本部 信愛会
- 特別養護老人ホーム 篠栗荘
- (特養併設) ショートステイ事業
- (特養併設) 篠栗荘ケアプランセンター
- 篠栗荘デイサービスセンター

# 令和4年度 信愛会本部 事業報告書

## ① 理事・評議員会等の開催内容

- 令和 4年 6月 ①法人監査(監事報告及び顧問公認会計士所見)  
②理事・評議員会:決算事業報告・諸規程整備等
- 令和 4年 10月 ①理事・評議員会:養護老人ホーム事業廃止に伴う財産処分・定款変更等
- 令和 5年 3月 ①理事・評議員会:補正予算(収支補正・返済条件変更等)  
次年度予算・事業計画・諸規程整備・県監査結果報告等

## ② 主な活動報告

- 上半期**
- ※ 養護老人ホームへの自治体による措置入所減少にて事業廃止決定  
(上記決定に伴う財産処分・借入金清算・定款変更等完了)
  - ※ 新型コロナ禍、施設面会制限・密な行事の中止縮小・衛生品確保等の対策強化
  - ※ 集団研修等が困難な為、オンライン研修推進、少人数会議、関連資料配布対応
  - ※ 新人オリエンテーション及び、既存職員への方針説明会(特養介護職対象)
  - ※ 県庁感染症対策本部推奨の無償抗原検査キット毎月受検(施設従事者対象)
  - ※ 新型コロナワクチン第4回接種(施設で7月実施:入所者と今回は基礎疾患ある職員対象)
  - ※ 特養施設にてコロナクラスター発生(8月中厳戒態勢:利用者18名・職員15名感染)
  - ※ デイサービスにて感染濃厚接触案件増(8月中4日間休業)
  - ※ 決算報告・事業報告・監事監査・顧問公認会計士所見(法人本部)
  - ※ 法人資産変更登記申請(福岡法務局)
  - ※ 公益法人等収支計算書類提出(香椎税務署)
  - ※ 社会福祉法人現況報告データ公表(福岡県庁)
  - ※ 介護サービス公表システム情報更新(福岡県庁)
  - ※ 介護サービス事業所調査票提出(厚生労働省)
  - ※ WAM事業報告データ送信・返済条件変更申請(福祉医療機構へ適時報告)
  - ※ 信愛会ホームページ情報公開更新(経営協公開システム等も同時更新)
  - ※ 法人役員賠償責任保険更新(FFGほけん・損保ジャパン)
  - 施設従事者相互保険更新(法人互助会・社会福祉振興試験センター)
  - ソウエルクラブへの入退等各種申請(法人互助会・福利厚生センター)
  - 退職共済職員名簿提出(福祉医療機構)
  - 介護職等待遇改善関連計画申請提出(福岡県庁・広域連合)
  - 軽自動車免税申請(篠栗町役場)
  - 法人一括車両フリート保険更新(篠栗モーター・損保ジャパン)
  - 全職員健康診断(三野原病院)
  - 配置医師等報告電子申請(福岡県庁)
  - 給食施設定期検査(粕屋保健所)
  - 施設建物設備定期点検報告(委託業者より所轄団体へ報告)
- 下半期**
- ※ 県定期指導監査:施設運営/特養分(福岡県庁)
  - ※ 新型コロナ療養時及び物価高騰補助金等の申請(福岡県庁・篠栗町役場・経営協)
  - ※ 事業継続BCP規程及び防犯マニュアル更新(全職員へ配布)
  - ※ 新型コロナワクチン第5回接種(施設で11月実施:入所者と基礎疾患ある職員対象)
  - ※ 赤い羽根共同募金+歳末募金(法人互助会から篠栗町社協へ)
  - ※ インフルエンザ予防接種(利用者:篠栗病院 / 職員:やまのクリニック)
  - ※ ユニ・チャーム排泄ケア連携(特養排泄委員対応)
  - ※ 給食委託業者・昭和イーティングとのヒヤリング(施設管理栄養士と双方管理職)
  - ふくおか医療機能情報ネット(医務室登録更新)
  - デイセンター:オアシス篠栗の行政財産使用許可更新(篠栗町役場)
  - 法人一括財産包括火災保険更新(福祉共済会・あいおい損保)

施設賠償保険更新（E保険プラン・あいおい損保）  
福岡県「子育て応援宣言企業」「エコ事業所」登録継続（認定証掲示）  
福岡県「飲酒運転撲滅宣言企業」登録継続（ポスター等掲示）

### ③ 福祉医療機構からの借入金償還報告 **返済条件変更（措置入所減少・介護事業利益率低下）**

平成15年時 敬光園移転新築時分 ※事業廃止に伴う建物売却収入により完済。  
平成22年時 篠栗荘移転改築時分（元金 本来・年1863万円を据置） 利息 3,515,569円

### ④ 情報公開・指定更新・地域貢献・人材育成への対応

- i パンフレットや各種広告に加え、法人ホームページでの情報公開、理念方針・個人情報保護・苦情解決体制・定款・財務諸表・事業計画報告・監査報告・役員一覧・組織図・サービス説明書等のデータ適時更新
- ii 介護保険事業所（特養篠栗荘・併設ショートステイ・デイサービスセンター・ケアプランセンター）は、「介護サービス情報公表制度」に基づく公表データ更新（平成18年度より毎年）
- iii 介護保険事業所（特養篠栗荘・併設ショートステイ・デイサービスセンター・ケアプランセンター）の指定更新（令和2年より6年間有効）

### ※ 地域社会貢献活動について



【地域の社会福祉法人と連携：篠栗町社協主催の福祉講座に職員出向、県社協ふくおかライフレスキュー柏屋連絡会に参加し、旧施設をリユース品倉庫とし無償提供】共同募金・歳末募金（法人互助会からの募金と施設自販機売上一部）・非常食等買替前にフードバンクへ提供・飲酒運転撲滅宣言・エコ事業所登録等

### ※ 福祉人財育成について



【信頼と共感のもてる職場づくりの方針を掲げ、新入職員へ初期教育・既存職へ待遇改善・規定明示・WEB研修等への参加促進や資料配布・資格取得支援】小中学生へ福祉教育（感染対策にて休止）・教職課程大学生の介護体験（休止）・専門学生の実習受入（限定）・子育て応援宣言登録・応急手当普及員配置・特養職員に喀痰吸引研修他、専門職に各種研修・協力歯科による口腔ケア指導・消防や防災業者による定期点検訓練等



### ☆信愛会職員能力向上プロジェクト☆ 【資格取得支援】

平成27年度 実績	社会福祉士 1名・介護福祉士 2名・ケアマネ 1名 合格
平成28年度 実績	社会福祉士 1名・介護福祉士 1名 合格
平成29年度 実績	介護福祉士 1名 合格
平成30年度 実績	介護福祉士 1名 合格
令和 2年度 実績	社会福祉士 1名・介護福祉士 1名 合格
令和 3年度 実績	介護福祉士 2名 合格

※ 資格取得者には、福利厚生センター（ソウェルクラブ）からの記念品進呈と、給与規定による手当増額があります。（対象者の3年未満の退職累計6名）

# 《法人事務部門報告》

“信頼と共感の持てる職場づくりに取り組みつつ、適正な情報公開・財務規律に努めました”

**【信頼と共感の持てる職場づくり】**これまで数年間、人財育成を重視、待遇改善、業務省力化を図ってきましたが、財務改善中のコロナ禍に、養護施設の廃止、体調不良や家庭の都合等での離職による人手不足等を経験しました。今後は、既存事業に集中して立て直す方針として、「小さくともキラリ輝く運営を」目指します。

**【情報公開への取り組み】**社会福祉法人に求められる情報公開の全項目を、法人ホームページに掲載適時更新。

**【適正な会計処理について】**顧問公認会計士に適時相談・報告を行い、適正な財務管理に務めました。  
予算計画や決算報告等において、要点や方向性を分かりやすく解説しました。

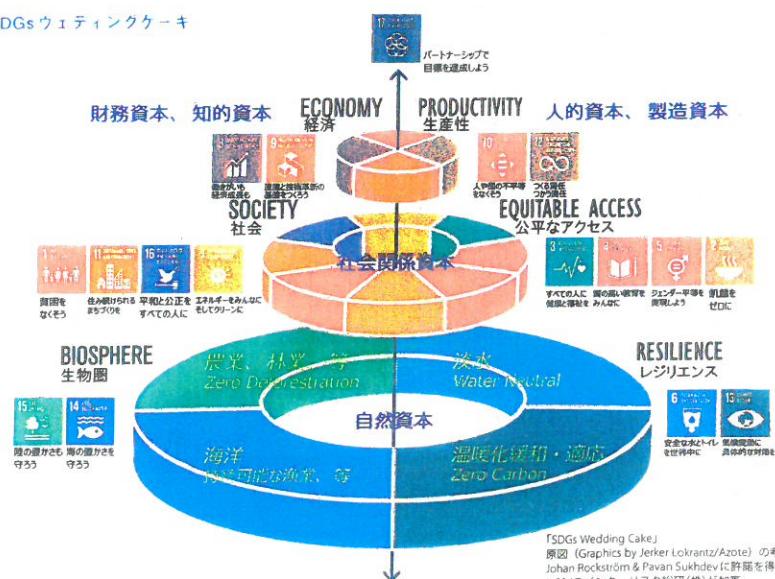
**【監査・調査等への対応】**重点対象項目を継続的にチェックし、記録証書類の確実な保管に務めました。  
特に、財務や法人の状況調査等においては、実態をご理解頂ける様な資料作成や情報収集・分析を行い、現状アピールに努めました。

**【コスト管理等の取り組み】**業者や商品は比較検討し、質・価格共に優れたモノを追求するよう心掛けています。  
費用対効果も考慮し、経費を抑制しつつ、必要性の高い支出に備えました。

**【防災救急対策について】**緊急連絡網や自衛組織表など適時更新し、各種訓練点検も定期的に実施しました。  
自然災害等に関しても、資料掲示。消防立入検査も支障なし。  
事業継続BCP規程や防犯マニュアルも更新して全職員に配布。

## SDGs と社会福祉法人…

SDGsが掲げる17のゴールは、相互に関連しており、下図のように整理されています。とくに、「社会関係資本」に関連する各ゴールは、社会福祉法人の理念・実践と合致するものです。また、「パートナーシップで目標の達成」をめざすSDGsは、多様な主体との連携を強化し、地域共生社会の実現を主導する社会福祉法人の今日的役割とも密接な関係をもっています。



「SDGs Wedding Cake」  
原図 (Graphics by Jøker Lokrantz/Azote) の考案者:  
Johan Rockström & Pavan Sukhdevに許諾を得て、  
MS&AD インターリスク総研(株)が加筆

## 令和4年度 研修出張等の記録（本部・特養区分）

職種	研修名	研修日	研修場所	主催者等
施設長	北部施設長会	4/15・6/27	ZOOM	北部ブロック
	老施協総会	6月28日	"	県老施協
	安全管理者講習	7月20日	粕屋町	県公安委員会
	ネット口コミの影響と対策	12月13日	ZOOM	篠原会計グループ
	北部施設長会	12月26日	ZOOM	北部ブロック
	福岡地区老施協役員会	2月13日	ZOOM	福岡地区
	北部施設長会	2月17日	ZOOM	北部ブロック
	ライフレスキュー管理者会	3月16日	同行園	ライフレスキュー糟屋地区
	経営協webセミナー	3月22日	WEB会議	経営協
事務長	新年度計画方針説明会(荘・介護職対象)	4月4日・5日・6日	篠栗莊	篠栗莊
	信愛会 理事会	6月14日	篠栗莊	信愛会
	福岡法務局・変更登記	6月30日	福岡市	福岡法務局
	公正採用人権研修	11月1日	"	ハローワーク・労働局
	顧問会計士上半期状況・敬光園処理	12月2日	篠栗莊	篠原会計グループ
	ネット口コミの影響と対策	12月13日	ZOOM	篠原会計グループ
事務	社会保険事務担当者研修会	4月27日	飯塚市	県社会保険協会
	労働保険年度更新事務講習会	5月20日	"	"
	算定基礎事務説明会	6月23日	"	"
	メンタルヘルス対策セミナー	8月4日	"	労働局
	育児休業に関する事務講習会	9月26日	"	県社会保険協会
	介護休業に関する事務講習会	10月27日	"	"
	年末調整に関する事務説明会	11月14日	"	"
	働き方改革関連法セミナー	11月29日	"	"
	労災防止対策等説明会	12月13日	ZOOM	福岡東労働基準監督署
部長	粕屋ライフレスキュー連絡会	5月19日	WEB会議	ライフレスキュー糟屋地区
	認知症カフェ講座	5月24日	篠栗町	篠栗町
	人権同和研修	10月4日	粕屋町	粕屋保健福祉環境事務所
	ライフレスキュー連絡会	11月17日	宇美町	ライフレスキュー糟屋地区
	認知症サポート講習	3月3日	篠栗町	篠栗町
生活相談員	次世代部会	4月20日	WEB会議	県老施協
	"	6/21・6/27	"	"
	"	9月15日	宗像市・小学校	"
	居宅・次世代合同研修	11月11日	福岡市	"
	福祉サービス苦情解決従事者研修	2月10日	WEB研修	"
	防犯研修	2月21日	ZOOM	北部ブロック
	次世代部会	2月22日	ZOOM	県老協
管理栄養士	粕屋町地域ケア会議	6/15・10/17	粕屋町役場	粕屋町
	地域ケア会議専門職研修	12月4日	福岡県庁	県保健医療介護部高齢者地域包括
	認知症カフェ講座	12月19日	オアシス篠栗	篠栗町
	粕屋町地域ケア会議	1月16日	粕屋町役場	粕屋町
	粕屋町地域ケア会議・助言者連携会議	2月22日	粕屋町役場	粕屋町
	粕屋町地域ケア会議	3月15日	粕屋町役場	粕屋町
介護職	喀痰吸引内部研修	4月23日	篠栗莊	看護師・介護職4名
	口腔ケア定着推進研修会 (次期口腔ケア委員会・他対象職員)	3月31日	WEB研修	県歯科医師会
主任ケアマネ	地域包括支援センター事例検討会	8月18日	中部消防署	粕屋6町地域包括センター
	虐待防止・権利擁護研修	9月21日	春日市	県社協
	居宅・集団指導	10月4日	パピヨン	福岡市
	在宅医療介護連携推進会議	11月15日	篠栗町	篠栗町
	ケアプラン確認・分析結果に関する報告会	11月29日	シーメイト	県介護支援専門員協会

# 令和4年度 介護保険事業報告 (特養施設・ショートステイ・ケアプラン・デイサービス)

## 【概要①】特別養護老人ホーム 篠栗荘（介護老人福祉施設）定員52名

※2名はショート空床特例入所

年間延利用者数	16765人
月平均利用者数	45.9人
月平均延利用者数	1397.1人
月平均稼働率	88.33%

保険者	篠栗町が70%
-----	---------

年間入所者	16名
年間退所者	15名

平均要介護度	3.9
平均年齢	83.2歳

・利用者で負担軽減を受けている方…68%

### ○ 平均要介護度は前年度4.02から低下。

新規入所者内訳が(特例入所)要介護2:2名、要介護3:8名、要介護4:5名、要介護5:1名で特例入所が2名いる等、全体的に新入所者の介護度が低かった事が原因である。

入所待機者は要介護3以上の方に限定すると57名程度で、前年度より増加傾向にある。

入所待機者となっていても、入所が不可能な状態であったり、他施設に入所したりという

状態で、実際の入所待機者は約半数という状態であり、待機者数の減少が続いている状況は糟屋郡内の特別養護老人ホームはどこも同じである。

### ○ 稼働率は88.33%。過去、令和2年度92.54%、令和3年度89.79%と比較して減少。

入院日数は前年度46件、今年度37件で減少。退所者数は前年度11件、今年度15件で増加。

8月に新型コロナウィルスによるクラスター発生の影響で新規入所受け入れをしばらくの間、

見合わせた事+退所の方が増加したのに対し、新規入所の方が中々決まらなかった事が稼働率減少の原因である。

### ○ 入所の方は篠栗町の方が70%で相変わらず多い。新規入所申し込者も篠栗町の方が多い。

嘱託医である篠栗病院や地域の病院・老人保健施設・小規模多機能からの紹介が多いことが一因と考えられる。今後も良い関係性を継続させる事が待機者の減少防止に繋がると思われる。

今後も待機者増は望めないため、更に魅力ある施設作りを模索していくかなければならない。

### ○負担軽減を受けている方は68%(うち、生活保護受給者5名)

成年後見人制度を利用中の方は4名。日常生活自立支援事業制度を利用中の方は1名。

## 【概要②】併設ショートステイ事業(短期入所生活介護)定員8名

年間延利用者数	1467人
月平均実利用者数	4.0人
月平均延利用者数	122.25人
月平均稼働率	50.24%
1日平均利用者数	4.0人

### 要支援・要介護状況

要支援1	0%
要支援2	0%
要介護1	10.1%
要介護2	30.2%
要介護3	16.4%
要介護4	31.8%
要介護5	11.5%

稼働率は低下している。7月迄は順調に推移していたが、8月に新型コロナウイルスによるクラスター発生の影響で利用を控えて頂いたり、新規の受け入れを見合わせた事が原因である。今後もしばらくは新型コロナウイルスの影響は続くと思われるため、レギュラーの方の確保をしていかなければならない。又、感染症の予防にも力を入れて行かなければならない。

## 【各部門要旨】 介護・看護・栄養部門報告

※ 看護・介護・栄養・相談の3部門が一体となり、より良い統一したサービスの提供に努めた。

- ・基本的介護の充実
  - ・感染症・褥瘡予防
  - ・事故防止・身体拘束廃止
  - ・高齢者虐待防止
- } ・各種委員会活動  
  ・ケアプラン、栄養ケアマネジメントの充実  
  ・家族との連携強化

※ 新型コロナウイルス感染症への対応の為に、従来の感染症対策を徹底強化した。

- ・令和2年度より新型コロナウイルスが蔓延する中、陽性者が出ることなく経過していたが  
令和4年8月に入所者17名・ショートステイ利用者1名・職員15名に感染。  
クラスターが発生。重傷者2名。(のちに退院1名・死去1名)  
この経験を活かし、現在もスタンダードプリコーション(感染症に対する標準予防策)を意識し、  
熱発者が出了際はすぐに感染対策を行う事が出来ている。
- ・予防接種(新型コロナウイルスワクチン、インフルエンザ)の徹底
- ・集合での研修が出来ないため、感染症対応に必要な知識を書面にして配布した。
- ・「疑わしい症状には徹底的に対応する」を徹底し、ガウンテクニックによる消毒の徹底と  
通院等の医療機関との連携を徹底し、一時的隔離による拡散防止を図った。
- ・家族への注意喚起の文書を適宜送付し、緊急事態等の対応に応じて、面会の制限を実施。  
面会可能時も窓越し面会+面会ブースを設け、直接触れ合えない様にし、感染対策を徹底。
- ・次亜塩素酸ナトリウムによる毎日の廊下の拭き上げ、手摺や椅子の消毒を徹底した。
- ・職員は毎日出勤時に検温を行い、37.0℃以上の熱がある場合には、状況に応じ、通院・  
自宅待機等の対応とした。
- ・福岡県から無償提供される月1回のPCR検査や週2回の抗原検査をスタッフ全員が定期的に  
実施する事で水際対策を徹底した。
- ・マスク着用と手指洗浄・消毒の徹底を継続した。

※各会議(職員会議、部門代表者会議、フロア会議)については、集合による密を避ける為、  
必要最小限の開催を行った。

## 【各委員会要旨】 各種委員会の活動報告

### (1)口腔衛生管理委員会

- ・多職種参加の栄養会議、栄養ケア、ケースカンファレンスを感染症・褥瘡防止委員会と  
連携させ、より良いサービスの提供に繋げた。
- ・食事摂取量表の活用  
摂取量の記入法は全員で共有し統一できたが、情報の共有・個別把握は不十分な点  
もあった為、更なる連携強化を図りたい。
- ・部門間の連携  
各部門間の連携が取れるように努め、意思疎通が出来ていた。
- ・口腔ケアの徹底  
口腔ケアについては協力歯科医院の歯科衛生士より指導を受け、適正に実施している。  
自力で行う方への口腔ケアに対してスタッフの介入が徹底出来てきている。
- ・口腔ケア物品の管理  
各利用者の物品は衛生面の管理も含め、スタッフ同士の意思疎通が出来ていた。

### (2)入浴・清潔ケア向上委員会

- ・入浴機器や物品の管理の徹底、速やかな報告を心掛ける。  
年度を通して物品の不調や故障が多い年であったが、破損報告や全体への周知など  
速やかに行い、状況に応じた変更対応も実施することが出来た。

- ・新入所や退所時の入浴方法・形態についてマニュアルを作成する。
  - 一通りの流れを作り、スムーズに実施出来ていたが、マニュアル化し、伝達する事が一部出来ていない。来年度に向けてマニュアル作成を行った。
- ・入浴スケジュールの変更を行い月毎にまとめ、記録として残す。
  - 入退所や入退院などのタイミングを含め、最低でも月2~3回の変更を行い、月毎に委員会記録と共にまとめる事が出来ている。
- ・入浴・清潔委員会の活動を継続的に実施出来る環境を作る。
  - スケジュール管理などで一通りの流れを作り、活動しやすい形を作る事が出来ている。

### (3)排泄ケア向上委員会

- ・看護部門との連携
  - 臀部や陰部など皮膚異常がみられた際は直ぐに確認してもらえる様、看護と連携を行った。
  - 入浴後の介護(軟膏塗布、衣類着用など)に看護が補助として入ってもらう事が出来た為、スムーズに連携を取る事が出来た。
- ・物品の管理、検討
  - 新型コロナウイルス感染によるクラスターが発生した際は直ぐにオムツの種類、数量を調整し、不備が無い様、対応を行う事が出来た。クラスター終了後の通常対応に戻った際には各ご利用者の状態変化を聞き取り、調整を行っている。
- ・意識意欲を高める
  - スタッフに対して排泄ケアで困っている事、難しい事を聞き取りする事が出来なかった。
  - 今後は積極的に聞き取りを行い、全スタッフで共有出来る様に努めていきたい。

### (4)感染症・褥瘡防止委員会

#### 感染症防止について

- ・8月にクラスター発生した際には、事業継続BCP規程に沿って感染対策を実施。
  - 一度、シミュレーションを行っていた事で、感染ゾーン指定・入所者隔離までスムーズに行う事が出来た。1階と2階の職員往来禁止・入浴中止・食事を1日2食提供に変更等、他部門、他委員会と連携し、協力フォローバック体制を整える事が出来た。
- ・4S(整理・整頓・清掃・清潔)に基づき、居室管理・環境整備・リネン類管理は徹底出来ている。
- ・フロア内換気・マスク着用等は今後も継続して行い、感染者を出さない努力をしていく。

#### 褥瘡防止について

- ・毎月皮膚トラブルは数名あるが、早期発見・速やかな処置により大きなトラブルは無く経過している。今後も継続。入浴時の保湿にも努めていく。
- ・食事や栄養面において他部門と連携する事で重症化することなく経過している。
- ・感染症・褥瘡防止両面において他部門との連携をしっかりと取る事で協力体制が確立。予防がスムーズに行える為、今後も実施していく。

### (5)事故防止・虐待拘束防止委員会

- ・多職種参加の事故防止・身体拘束廃止委員会を中心に話し合いを行い実行した。
- ・事故報告書やヒヤリハット報告書の集計と内容の検討を行い、委員会が書面での報告を行い、職員に注意喚起を行った。
- ・センサーマットの適切な活用のために新しく必要数購入している。
- ・物品管理の徹底と使用記録を継続し、使用の可否について検討を継続している。
- ・座位姿勢や臥床位置等について、ケースカンファやフロア会議等で検討を行い、写真を活用して、周知徹底を図り、事故防止に努めた。
- ・相談員、看護職が中心となり、家族や代理人への説明を適宜行ったり、トラブル発生時の対応を適切に迅速に行う事で、事故を事件にしないように努めた。
- ・事故防止・虐待拘束廃止委員会が中心となり、緊急時や事故発生時の対応例をわかりやすく説明した。
- ・事故報告書をレベル別に分けて、より分かりやすく、今後の事故防止に役立てやすく改善した。
- ・ヒヤリハット報告書を簡易なものにし、よりたくさんの気づきが出るようにした事でヒヤリハット報告が前年よりも件数が増加。事故に繋がる前に気づきとして周知。

※体制作りは実施しているが、意識の差があり、同様の事故を繰り返す事もある為、統一した対応の定着は、今後も継続課題である。

※身体拘束廃止に関しては、介護保険報酬改定で厳しくなり、今後も更に厳しくなっていく為、  
更に充実させて行く必要がある。

※事故防止・虐待拘束廃止委員会は、次年度より事故防止委員会と虐待拘束防止委員会に  
分離し、リスクマネジメントや人権擁護などに対する更なる充実を目指していく。

#### (6)安全対策委員会

- ・喀痰吸引を行う吸引機が故障の際は機器の入替えや設置場所の移動等行っているが、職員全体に周知出来ておらず、使用時に探さなくてはならない事もあった。
- ・喀痰吸引を行った際の吸引実施記録ファイルについて、記録抜けがある事もあった。
- ・喀痰吸引有資格の介護職員が主に夜間帯に喀痰吸引を行った際に記録する特定行為実施ファイルについても記録抜けがある事があった。周知徹底させる必要がある。

#### (7)行事・レクリエーション

- ・昨年度は新型コロナウィルス感染症の拡大により、小規模でのレクリエーションを行うに留まっていたが、今年度は「秋祭り」「新年の集い」という集合行事を実施する事が出来た。  
今後も状況を見ながら適宜、行事や外出を実施していきたい。
- ・毎日の習慣として午前11:00から全館にラジオ体操を流し、できる利用者には体操をして頂く様にして、少しでも楽しみや生活にメリハリを持たせる様にしている。

#### (8)その他

- ・特別支援学校から卒業生を1名を非常勤職員として採用している。職務内容は館内清掃。順調に勤務し、前年度からは勤務時間を延長。(現在は扶養の範囲上限で勤務)

#### (9)研修実施

※新型コロナウィルス感染症拡大により、集合での研修が出来なかつた為、リモートや資料配布、動画視聴、少人数による研修等行った。

- ・法人理念方針及び事業計画等の説明
- ・虐待及び身体拘束廃止関連について
- ・感染症対策(ガウンテクニックと汚物処理も実施)
- ・排泄及びリスクマネジメント等々
- ・防災訓練(避難訓練、防災機器説明、通報訓練等)、各種研修実績別途提示。

社会福祉法人 信愛会

理事長 柳 義明

信愛会サイト



ホームページアドレス <http://sasaguri.fk-sinaikai.or.jp>

特別養護老人ホーム 篠栗荘

(法人本部)

TEL 092-947-3480

FAX 092-947-3568

篠栗荘ケアプランセンター

〒811-2415 福岡県粕屋郡篠栗町津波黒450-1

## 利用者の食事状況報告 令和5年3月31日現在

### ○ 栄養ケアマネジメント状況

低栄養リスクレベルの判定状況	高リスク 0名・中リスク 5名・低リスク 45名
栄養ケアマネジメント実施状況	高リスク月2回・中リスク月1回・低リスク 3ヶ月に1回
経口摂取以外の方の状況	胃ろう造設者 3名

### ○ 行事食実施状況

実施月	昼食		おやつ	
4月	花見弁当	季節御膳	花祭り (抹茶ケーキとコーヒー)	おやつの盛り合わせ
5月	端午の節句	季節御膳	ミニパフェ(いちご)	おやつの盛り合わせ
6月		季節御膳	ブルーベリーマフィン	フレンチトースト (ホットプレート)
7月	七夕	土用の丑	あんみつ	スイカ割り大会
8月	お楽しみ献立	季節御膳		
9月	敬老のお祝い御膳		秋のお彼岸(おはぎ)	ホットケーキ (ホットプレート)
10月	秋のお弁当	季節御膳	大学芋	スイートポテト
11月	秋祭り 屋台形式 (焼きそば、カレーライスなど)	季節御膳	チーズケーキ風	お菓子の盛り合わせ
12月	クリスマス	年越しそば	ミニパフェ(チョコ)	お菓子の盛り合わせ
1月	おせち 七草粥	季節御膳	鏡開き(ぜんざい)	お菓子の盛り合わせ
2月	節分	季節御膳	和のパンケーキ	お菓子の盛り合わせ
3月	ひな祭り	季節御膳	春のお彼岸(ぼた餅)	お菓子の盛り合わせ

- ・毎月1日：お赤飯
- ・新型コロナウイルス感染症の予防為、デザートバイキングはお菓子の盛り合わせへ変更。
- ・8月はコロナクラスター発生の為、おやつ行事は中止。

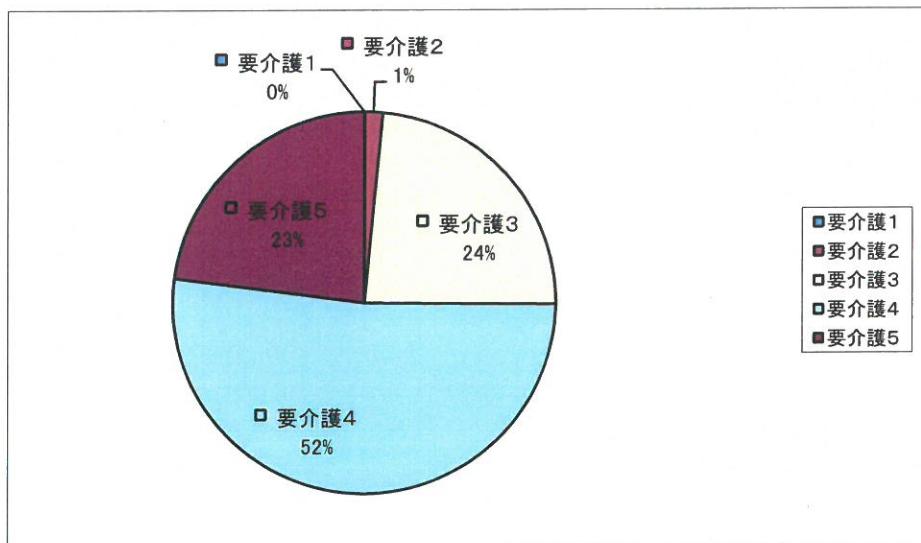


【 特養・篠栗荘 】令和4年度

(定員50名+ショート空床利用の特例入所2名)

① 年間要介護度別利用人員

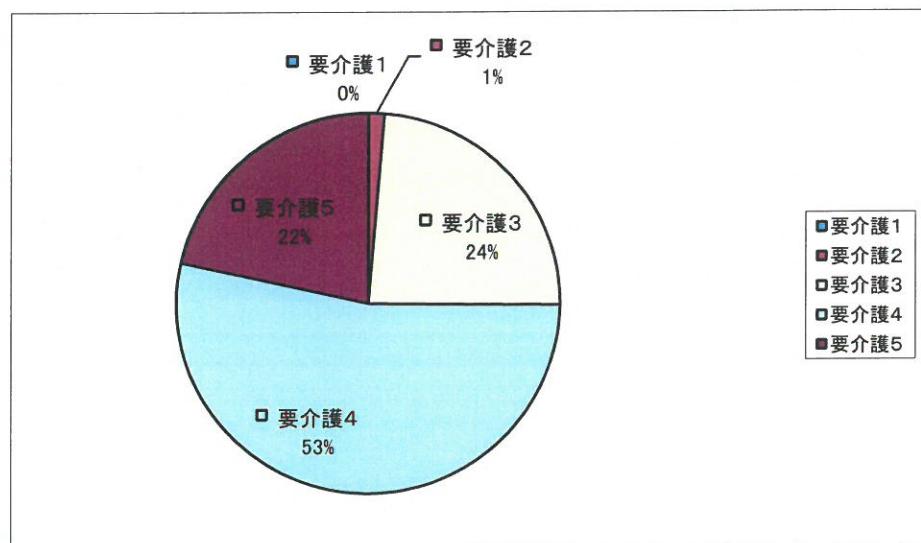
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
自費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人	0%
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人	0%
要介護2	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	2	2	9人	1.5%
要介護3	9	11	9	12	12	11	12	12	13	13	13	13	140人	23.6%
要介護4	27	25	26	26	26	25	25	27	27	26	24	24	308人	51.9%
要介護5	13	12	13	12	10	11	11	10	10	11	12	11	136人	22.9%
合計	50	49	49	50	48	47	48	49	51	51	51	50	593人	100.0%
平均介護度	4.04	3.98	4.04	4.00	3.96	4.00	3.98	3.96	3.90	3.92	3.90	3.88	3.96	



② 月別利用日数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
自費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0日	0%
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0日	0%
要介護2	30	31	30	0	0	0	0	0	2	31	38	62	224日	1.3%
要介護3	224	322	258	341	371	300	341	253	401	400	363	403	3,977日	23.8%
要介護4	780	732	710	760	806	720	733	743	794	780	633	711	8,902日	53.3%
要介護5	341	351	288	295	215	229	291	300	310	329	308	341	3,598日	21.5%
合計	1375	1436	1286	1396	1392	1249	1365	1296	1507	1540	1342	1517	16,701日	100.0%
月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365日	
平均	45.8人	46.3人	42.9人	45.人	44.9人	41.6人	44.人	43.2人	48.6人	49.7人	47.9人	48.9人	45.8人	

月平均 1,391.8人 ベッド稼働率 87.99%



③ 新規入所状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1													0人
要介護2									1		1		2人
要介護3		1	1	3			1	1	1		1		9人
要介護4	1						1	2					4人
要介護5							1						1人
合計	1	1	1	3	0	0	3	3	2	0	2	0	16人

④ 退所状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1													0人
要介護2													0人
要介護3		1						1					2人
要介護4	1				1	1	2			2		1	8人
要介護5	1		3					1			1		6人
合計	2	1	3	1	1	2	2	0	0	2	1	1	16人

⑤ 入院状況（延べ日数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1													0日
要介護2													0日
要介護3	20	12	12	24	1	30	3						102日
要介護4	21	35	37	31	18	17	29	40	41	17	37	9	332日
要介護5	19	21	46	46	79	82	20			12	20		345日
本年度合計	60	68	95	101	98	129	52	40	41	29	57	9	779日
前年度数値	82	100	95	86	138	106	27	10	95	162	119	100	1,120日
													前年比 69.55%

入所者（3月31日付）

	男	女	合計	割合
40~64				0%
65~69	1		1	2.0%
70~74		2	2	4.0%
75~79		7	7	14.3%
80~84	1	5	6	12.3%
85~89	1	10	11	22.4%
90~94	2	12	14	28.6%
95以上	1	7	8	16.4%
合計	6	43	49	100%

※全体平均年齢・・・86.8歳
※男性平均年齢・・・85.2歳
※女性平均年齢・・・87歳

要介護度（3月31日付）

要介護度			
	男	女	合計
要介護度1			0
要介護度2	1	1	2
要介護度3	1	12	13
要介護度4	3	20	23
要介護度5	1	10	11
計	6	43	49

※平均要介護度:3.9

保険者内訳（3月31日付）

保険者	人数	割合
篠栗町	35	71.5%
粕屋町	3	6.2%
福岡市	6	12.3%
須恵町	2	4.0%
宮若市	1	2.0%
久山町	1	2.0%
行橋市	1	2.0%
合計	49	100%

所得段階等（3月31日付）

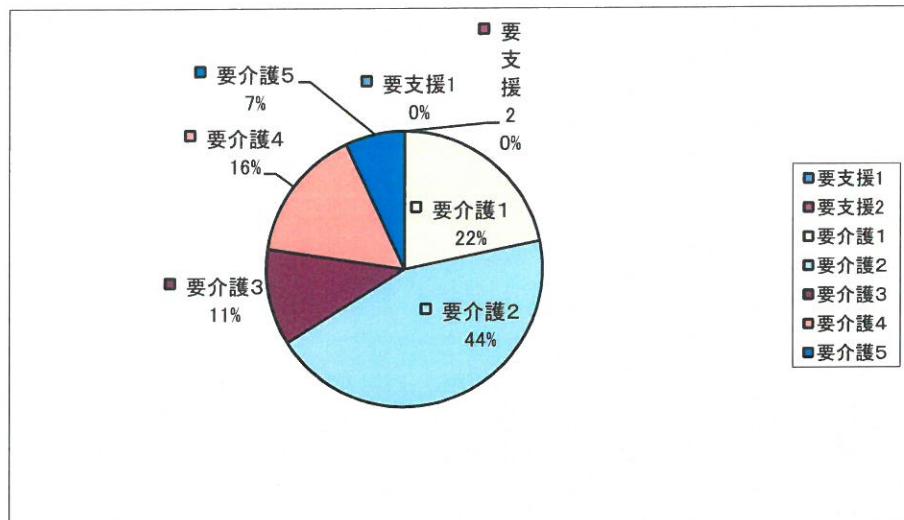
所得段階	人数	割合
生活保護	5	
1段階	5	(生活保護の方と同じ)
2段階	8	
3段階①	9	
3段階②	13	
4段階	13	
4段階(2割負担)		
4段階(3割負担)	1	

【短期入所(ショートステイ)】令和4年度

定員10名-2名分は施設特例入所:実質8名

① 月別利用人員

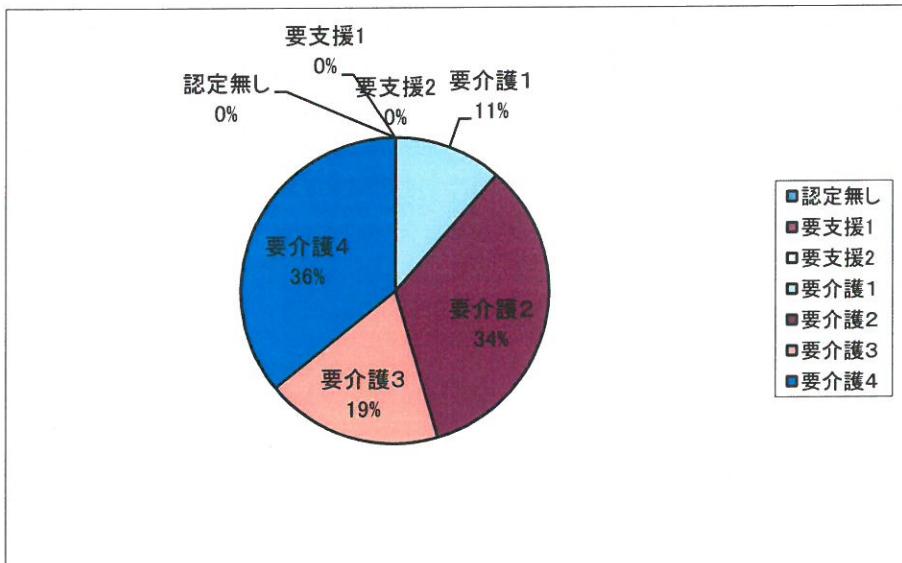
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
介護保険	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人	0%
	要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人	0%
	要介護1	3	4	2	2	1	1	2	3	2	2	2	25人	21.7%
	要介護2	3	3	3	5	1	6	4	8	7	5	1	51人	44.3%
	要介護3	1	2	2	2	2	1	1	0	0	0	0	13人	11.3%
	要介護4	3	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	18人	15.7%
	要介護5	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	8人	7.0%
	合計	11	12	10	11	6	11	8	12	11	8	9	6 115人	100.0%
平均介護度		2.6	2.4	2.7	2.5	3.0	2.5	2.6	2.1	1.9	2.0	2.2	2.8	2.4



② 月別利用日数

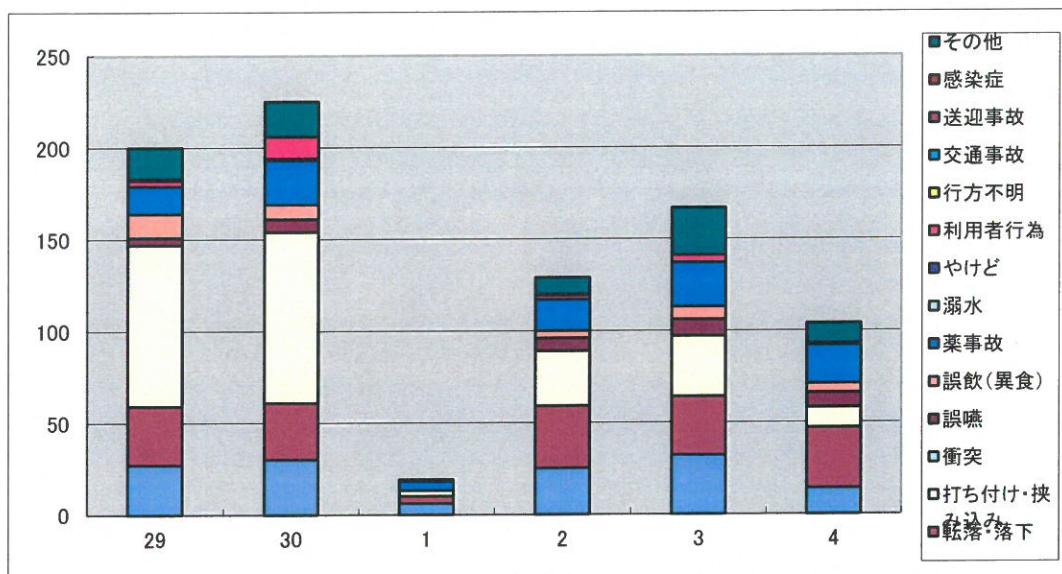
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
介護保険	認定無し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0日	0%
	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0日	0%
	要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0日	0%
	要介護1	11	22	10	10	3	3	6	9	9	29	27	9 148日	10.1%
	要介護2	16	20	19	39	2	25	40	70	84	72	44	12 443日	30.2%
	要介護3	30	33	32	33	44	36	4	29	0	0	0	0 241日	16.4%
	要介護4	61	62	50	29	30	29	13	29	29	25	49	60 466日	31.8%
	要介護5	30	31	7	24	31	30	7	0	0	0	0	9 169日	11.5%
合計		148	168	118	135	110	123	70	137	122	126	120	90 1,467日	100.0%
月日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31 365日	
平均		4.9人	5.4人	3.9人	4.4人	3.5人	4.1人	2.3人	4.6人	3.9人	4.1人	4.3人	2.9人 4.人	

月平均 122.25 稼働率 50.24%



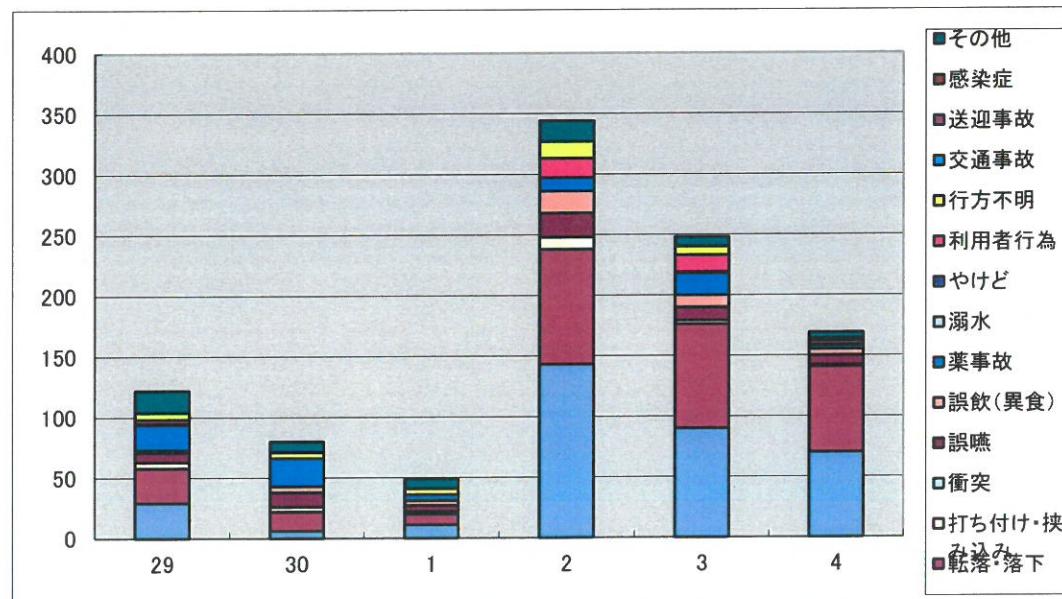
### 特養・短期入所事故報告書件数

年度	転倒	転落・落下	打ち付け・挟み込み	衝突	誤嚥	誤飲(異食)	薬事故	溺水	やけど	利用者行為	行方不明	交通事故	送迎事故	感染症	その他	合計
29	27	32	88	0	4	13	15	0	0	3	1	0	0	0	17	200
30	30	31	93	0	7	8	24	0	1	12	0	0	0	0	19	225
1	6	4	3	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	1	19
2	25	34	30	0	7	4	17	0	0	2	1	0	0	0	9	129
3	32	32	33	0	9	7	24	0	0	4	0	0	0	0	26	167
4	14	33	11	0	8	5	21	0	0	1	0	0	0	0	11	104



### ヒヤリハット報告書件数

年度	転倒	転落・落下	打ち付け・挟み込み	衝突	誤嚥	誤飲(異食)	薬事故	溺水	やけど	利用者行為	行方不明	交通事故	送迎事故	感染症	その他	合計
29	29	29	5	0	8	2	21	1	0	3	6	0	0	0	18	122
30	6	16	4	0	12	5	23	0	0	0	5	0	0	0	9	80
1	11	9	2	0	5	4	5	0	0	0	5	0	0	0	8	49
2	143	95	10	0	20	18	11	0	0	16	14	0	0	0	17	344
3	90	86	3	0	11	10	18	0	1	14	7	0	0	0	8	248
4	70	71	1	0	8	5	3	0	1	3	2	0	0	0	5	169



## ○ 居宅介護支援事業〔篠栗荘ケアプランセンター〕

(実務について)

契約者 26名 令和5年3月末現在

令和4年度 新規利用者 20名

利用終了者 27名 (死亡6名、入所2名、入院4名、敬光園退所15名)

令和4年度の新規利用者の内訳は、地域包括からの依頼が3件、養護老人ホーム敬光園からの依頼が1件、新規利用者が直接相談で契約となったケースは12件ほかの事業所からの紹介が4件であった。

新規のご契約者について、電話にて直接ご相談いただき契約となったケースが多かった。町内他居宅事業所の介護支援専門員の退職により3件担当依頼があった。また、介護予防者で篠栗荘のデイサービスやショートステイをご利用中で地域包括支援センター担当であった方はほとんど、要介護認定が出た際、併設である篠栗荘ケアプランセンターの担当を希望される。篠栗荘デイサービス、ショートステイが各御利用者、ご家族のニーズや事情に柔軟に対応されており、社会的に問題を抱えた方や重度な方でも施設に入所することなくご本人やご家族が望む在宅生活を継続できている。

利用中止者については、今年度は敬光園閉園に伴い他施設に移られたため15件利用中止となった。次に亡くなられた方が多く、他、ご本人やご家族が希望され篠栗荘に入所となった方や、病状が悪化し入院された方等である。入院されるとコロナウイルス感染予防のための面会制限による認知症の進行や感染症により自宅に退院できないケースが増えている。新規のご利用者を獲得しても中止となるケースが増えた。しかし、コロナが感染症第5類に変更となつたためサービス利用を控えていた利用者が利用を開始し増加していくことが予想される。

介護力不足やニーズの多様化、家族関係の複雑化などで、虐待等処遇困難ケースが増えている。頻繁に調整を行わないと家族の崩壊や地域からの孤立を招くようなケースであったり介護家族も多様化し介護サービスや、介護そのものの理解が乏しく、また経済的な問題を抱えているケースなど社会資源が少なく、地域包括ケアの構築がまだ不十分で介護保険サービス外の問題であっても介護支援専門員が調整、支援を行わざるをえない状況で負担が大きい。家族の過度な要求からの介護支援専門員や事業所スタッフに対するハラスマントも見られた。

認知症の進行や、身体状況の悪化のため、ニーズが変化し、本人、家族、サービス事業所、医療機関等と何度も調整し、担当者会議の開催や、ケアプランの作成を新規ケース同様の過程で行う必要がある事例が多い。終末期の在宅介護も増え緊急時の対応を行わなければいけないことが増えている。その上、度々の法改正により、保険者から膨大な記録や、介護サービス含め減算の対象となるため、サービスの透明化、公平性を中心に利用者家族への細かく具体的な説明、同意が求められており、ケアプランの質も高いものが求められ、業務量が増大している。

要介護者、特に軽度者の増加が著しく、それに引き換え介護サービスの人的確保が困難になってきている。また、団塊の世代が後期高齢者になる2025年が差し迫っているが、核家族化が進行し介護者が不在の高齢者も多数出てきているため地域でも要介護者を今後は支えていかなければならなくなってきた。介護支援専門員は介護保険の範囲ならず地域の抱える問題を浮き彫りにし社会資源の開拓を働きかけていく必要がある。

(各種サービス利用者について)

デイサービス 13名 デイケア 3名 訪問介護 2名 福祉用具貸与 31名

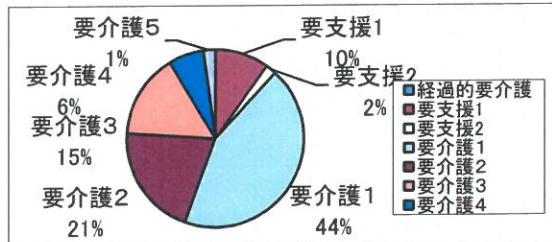
ショートステイ 3名 訪問看護 2名 訪問入浴 1名 (月平均)

今後も適正な運営を行い利用者の住みなれた地域で安心して生活が送れるように自立支援を行う  
様支援します

## 【篠栗荘ケアプランセンター：居宅介護支援事業】

### ① 月別ケアプラン作成人員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
要支援1	3	3	3	2	2	2	2	2	3	3	3	3	31	9.9%
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	6	1.9%
要介護1	12	12	14	13	9	8	10	12	14	11	11	11	137	43.9%
要介護2	10	10	8	7	4	4	3	4	4	4	3	3	64	20.5%
要介護3	8	7	9	6	3	3	3	2	2	1	2	2	48	15.4%
要介護4	3	2	3	1	2	1	1	1	1	1	2	2	20	6.4%
要介護5	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	7	2.2%
合 計	36	35	38	30	21	19	20	21	24	20	24	24	312	100.0%
	2.1	1.9	2.0	1.8	1.9	1.8	1.8	1.5	1.4	1.4	2.1	2.1	1.7	



### ② 月別ケアプランサービス委託先内訳

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合	
月別ケアプラン作成員	36	35	38	30	21	19	20	21	24	20	24	24	312		
訪問介護	こころ	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9	2.9%	
	レイクウッド	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.8%	
	さわやか	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	2	13	4.2%	
	篠栗町社協	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.8%	
	ささぐり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	1.0%	
デイサービス	篠栗荘ディ	9	8	10	7	5	5	8	8	7	7	8	90	28.8%	
	れんげ荘	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	8	2.6%
	ケアパートナ	2	1	2	2	3	2	2	1	1	0	1	1	18	5.8%
	セシリ亞	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1.0%
	パーク	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2.2%
	カインズ	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	7	2.2%
	また明日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4	1.3%
	ソラリス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.3%
	グランドディ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.8%	
デイケア	陽光苑	2	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	1	28	9.0%
	浪江苑	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.8%
短期入所	篠栗荘短期	3	3	3	2	2	3	2	2	3	2	2	1	28	9.0%
	陽光苑	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1.3%
	つくも苑	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3%
	緑の里	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1.3%
	グッドライフ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	3	1.0%
福祉用具	ベストケア	4	4	4	2	1	1	1	1	1	1	1	4	25	8.0%
	セピア	9	8	8	5	1	1	1	1	1	1	1	7	44	14.1%
	なんでも屋	2	2	2	3	3	3	3	3	3	2	3	32	10.3%	
	アクア	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0.3%	
	フランスベッド	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	2	2	9	2.9%
	クローバー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0.6%
	太陽シルバー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0.6%
	アルク	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	2	2	16	5.1%
訪問看護	ひよこ	2	2	3	4	4	4	3	4	4	3	5	4	42	13.5%
	ささぐり	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	11	3.5%
	大地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0.6%
	おおぞら	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3%
	スマイルケア	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	11	3.5%
訪問リハ	篠栗病院	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1.0%
訪問入浴	アサヒサン	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3%
	アップルハート	3	3	2	1	0	0	1	1	1	1	1	1	15	4.8%

③ 月別ケアプラン作成内訳

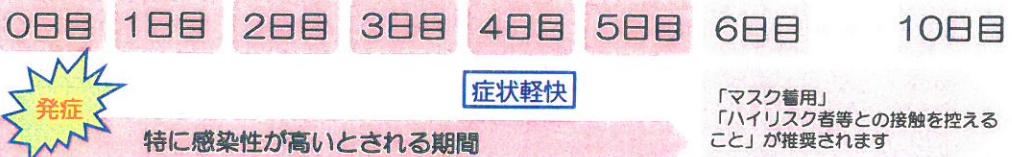
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
新規利用	3	1	5	5	0	0	2	3	3	0	7	1	30	
利用中止者	1	2	2	13	9	2	1	2	0	4	0	1	37	
住宅改修	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
福祉用具購入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
相談	2	2	2	2	0	0	1	5	0	1	1	1	17	
訪問	37	38	40	30	23	21	21	24	25	23	26	24	332	
モニタリング	33	33	38	29	22	20	20	19	23	22	22	20	301	
認定調査立ち会い	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	

## 令和5年5月8日以降に 新型コロナウイルス感染症に 罹患した方へ

令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症に対し行政による行動制限や健康観察がなくなり、外出を控える等の行動は、個人の判断に委ねられることになります。下記を療養する際の参考にしてください。

### 療養期間の目安

発症日（無症状の場合は検体採取日）を0日目として5日間、かつ、熱が下がり、痰やのどの痛みなどの症状が軽快して24時間程度が経過するまでは、外出を控え、様子を見ることが推奨されます。



発症から10日間が経過するまでは、不織布マスクを着用したり、高齢者等ハイリスク者と接触は控えたりする等、配慮しましょう。  
咳やくしゃみ等の症状がある場合には、マスクの着用など咳エチケットを心掛けましょう。



## ○ 通所介護事業(篠栗荘デイサービスセンター)

### 【利用者の概要】

2022年度(令和4年度)のデイ利用者の延人数は5230人、昨年は5720人であり、490名の大幅減少です。一か月平均435人であり、最低でも一か月平均500人以上の利用がないとデイ運営は厳しいです。**敬光園閉園に伴う利用者の減少が大きく影響しています。また、8月にコロナ感染者1名発生による5日間の休業、9月台風による2日間の休業、1月大雪による1日の休業もありました。**これからも休業を余儀なくされる事もあるかと思いますが、新規利用者を増やし稼働率をあげる事で、安定したデイ運営ができるよう努力する所存です。11月には、コロナ感染の減少により新規受入れの問合わせが増えてきた事とスタッフの定着もあり、定員を30名に戻しましたが、すぐに利用者が増える訳ではなく、今後に期待しての施策です。昨年の登録者数は月平均45人、今年度末の登録者数は44人で、昨年並みの登録数まで回復してきたといえます。例年新規利用者が10人前後ですが、本年度は新規利用者が21名と増加。にもかかわらず、ほぼ同数の利用者がこの1年で利用中止されました。その後の状況を観察しても、以前は介護度が高くなればすぐに入所施設へ移行するケースが多かったのですが、今の生活状態を維持したいと思われるケースが増えているようです。理由は施設入所への経済的不安が多い様です。今後は、在宅生活を維持できるよう多様な事業者と連携を深め、安心して生活が送れるような支援を提案できるようにします。

### 【利用者への対応】

#### A. 基本プログラムの見直し

生活活動	自宅内で活動が少ない生活が3年続き、利用者からデイに通う事と通院が唯一の外出と聞いて、初詣参りから、 <b>日本の季節行事や慣例をデイ活動に取り入れ、徐々に普通の生活を送るように努力しました。</b> 今後も感染対策を行いながら、生活に楽しみがあり活動が広がる内容を工夫します。
機能訓練	筋力低下防止の工夫として、デイ活動の中で体操や運動時間を増やし、短時間の運動をする時間を数回に分けて実施。開始当初は、キツイという言葉も聞かれましたが、徐々に課題をクリアできるようになりました。
レクリエーション	制限があるレクリエーション内容ですが、利用者が満足して頂けるよう努力しました。コロナ禍が落ち着き始め、令和5年1月より町内限定での外出行事を再開すると、皆さんからの喜びの声が多く聞かれました。また、ボランティアによるハンドベル発表会に参加し、久しぶりの異世代との交流はとても好評でした。
食事	コロナ禍3年となり、マスク生活も継続されています。 <b>喉の機能低下を防ぐため口腔体操の工夫を行いました。</b> 利用者から「篠栗荘の食事は美味しいもんな」「こんなまともな食事をしたのは久しぶり」と話されました。今後も楽しみに思ってもらえるような食事の提供を委託業者と協力し継続できるように努めます。
入浴	コロナ禍にて公共の入浴施設が休業している事で入浴目的でデイを利用される人が増えていました。公共の入浴施設の再開により、デイ利用を中止された方が1名出ました。しかし他の利用者は引き続きデイを利用して入浴されています。また男性職員が異動してきた事により、同性入浴介助も可能になりました。
排泄	排泄介助を一人一人に合わせて見直しを行いました。排泄に関しての失敗が少くなり、成果が出てきています。 <b>年度末には、コロナ感染予防の一環で、オアシス館内すべてのトイレが非接触型便座へ変更となりました。</b> デイルームも同じ機種を導入して頂きました。最初は操作方法に戸惑っていましたが、今では慣れてこられています。

## B. 健康管理

感染症ゼロを目指して	デイ利用中に1名発熱し、コロナ感染が判明、保健所の指示で、5日間休業となりました。午前中は発熱なく無症状の利用者が午後には発熱していました。幸いにも2次感染はありませんでしたが、未然に防ぐことの難しさを痛感しました。感染症法の第5類に変更後も基本的な対策は必要です。
------------	---

## C. 新規利用者の拡大

稼働率アップを目指して	コロナ禍での制限もあり当年度稼働率69.6%、昨年は76.5%で減少しました。稼働率8割を目指していましたが厳しい結果でした。新規利用者の受入れに力を入れましたが、稼働率アップへの成果は出ませんでした。今後は利用者のニーズに合わせた方法や時間に柔軟に対応できるように体制を整えます。
-------------	---

## D. 家族との関わりを深める

連絡や相談もお気軽に	新規利用者受入れを自粛していたので、今利用されている御家族との良好な関係の維持に努めました。コロナ感染での急な休業においても電話連絡にて快く休業を承諾して頂き協力的でした。今年度は花だより新聞にて、利用者のスナップ写真を多く掲載しましたが、御家族よりデイでの活動が知りたいとの意見があり、今後はデイでの活動風景写真を掲載し、毎月の花だよりを読む事で、どの様な活動をしているか分かりやすく提示します。
------------	---

## E. サービスの改善・質の向上

介護力向上を目指して	当年度は職員の離職がなかったので、安定した介護サービスを提供する事ができました。また、コロナ禍で利用者数を制限していた事もあり、利用者4人に対して1人の配置が可能となり、ゆっくりとかかわれる介護ができました。今後は利用者が増えても対応できる介護力向上を目指します。
------------	--

## 【委員会報告】

リスクマネジメント委員会	大きな事故事案はありませんでした。運動プログラムを多く取り入れることで、体力筋力の低下防止に努力しました。行動制限の解除による活動範囲の広がりにより、自宅や外出先での転倒骨折入院の事案が3件ありました。
身体拘束廃止委員会	転倒リスクを優先することで、言葉での制御がありました。「待ってね」の言葉が多く聞かれました。この言葉を使わなくても利用者に余裕が持てる体制作りを目指します。
苦情相談解決委員会	重大な苦情の事案はありませんでした。利用者の声を聞く中で、ドライブに出かけたい。花見に行きたい等の要望が多く聞かれるようになりました。今後も、利用者の声に小さな事でも耳を傾け、話しやすい環境をつくれるように、担当者との関係作りに重点を置きます。
感染症・食中毒対策	利用者1名デイ利用中に発熱、コロナ感染と判明。デイを5日間休業しなければならなかった事案が発生。朝は平熱で症状はなし、午後の検温で発熱している事が発覚。未然に防ぐのは困難で、2次感染しなかった事が幸いでした。感染症法の第5類に変更になっても、基本的な感染対策は継続する必要があります。
災害対策	今年度も、オアシス管内での合同避難訓練は、コロナ感染防止の為、書面での訓練と消火器等の使い方の説明のみとなりました。レクリエーションの場面を利用して、具体的な避難事例など説明する機会を多くつくりました。来年度は実践を交えた訓練が急務です。

## 【デイサービスセンター：通所介護事業】

※定員 10/31迄平日25名 土曜20名

※定員 11/1から平日30名 土曜30名

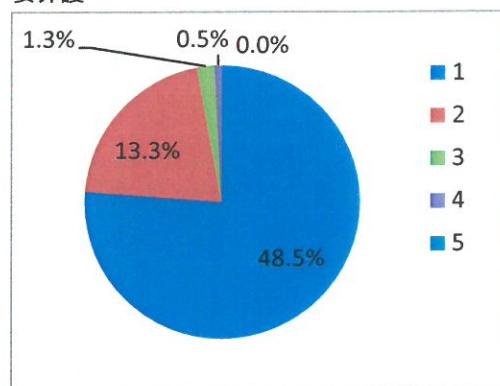
### ① 令和4年度 新規利用者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合事業人数	0	0	1	2	0	1	5	0	0	0			9人
介護人数	0	2	5	0	1	1	0	1	1	0			11人
前年度人数	1	0	1	3	0	0	0	1	2	1	0	1	10人

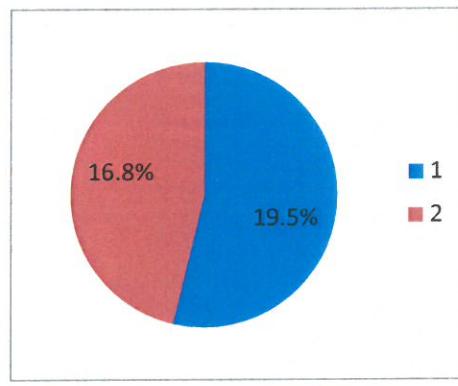
### ② 年間介護度別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
要介護1	225	205	240	274	191	178	230	200	171	172	203	230	2,519人	48.5%
要介護2	71	73	73	27	53	63	71	69	52	47	40	49	688人	13.3%
要介護3	37	17	8	7	0	0	0	0	0	0	0	0	69人	1.3%
要介護4	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	12	13	28人	0.5%
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	人	0.0%
介護合計	333人	295人	321人	308人	247人	241人	301人	269人	223人	219人	255人	292人	3,304人	63.7%
要支援1	67	74	62	73	76	89	109	100	84	85	95	99	1,013人	19.5%
要支援2	64	70	65	60	53	59	85	93	80	80	84	79	872人	16.8%
総合合計	131人	144人	127人	133人	129人	148人	194人	193人	164人	165人	179人	178人	1,885人	36.3%
総合合計	464	439	448	441	376	389	495	462	387	384	434	470	5,189人	100.0%
実施日数	26日	26日	26日	26日	24日	24日	26日	26日	26日	24日	24日	27日	305日	
1日平均	17.8人	16.9人	17.2人	17.人	15.7人	16.2人	19.人	17.8人	14.9人	16.人	18.1人	17.4人	17.人	
稼働率	67.3%	63.7%	65.0%	64.0%	59.1%	61.2%	71.8%	67.1%	56.2%	60.4%	68.2%	65.7%	64.2%	
前年度	517	457	461	541	514	512	513	506	537	456	276	430	5,720人	

要介護



要支援



### ③ 月別登録利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
介護1	15	16	20	22	18	18	19	19	20	17	19	19	222人	42.4%
介護2	7	6	8	3	5	5	5	6	5	5	3	3	61人	11.6%
介護3	3	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8人	1.5%
介護4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	3人	0.6%
介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	人	0.0%
要支援1	9	9	8	10	10	12	13	12	12	12	13	12	132人	25.2%
要支援2	7	7	7	7	6	6	10	10	10	9	10	9	98人	18.7%
合計	41	40	45	43	40	41	47	47	47	43	46	44	524人	100.0%
前年度	44	42	40	46	47	47	45	47	48	45	40	38	529人	

